



2023

吉浜小学校区 第2次地域計画

2023年 ~ 2032年

2023年（令和5年）4月
吉浜小学校区地域計画検討委員会
吉浜まちづくり協議会

つながり 支えあい 楽しく語り合うまちづくり よしはま

4つの基本理念

1. 子どもたちには 「 未 来 」 を !
2. 高 齢 者 には 「 い き が い 」 を !
3. 家 庭 には 「 笑 顔 」 を !
4. 地 域 には 「 き ず な 」 を !



吉浜まちづくり協議会

目 次	掲載頁
1. はじめに	
(1) 地域計画ってなに？	2
(2) 計画の期間	3
(3) だれがどうやって作ったの？	〃
(4) まちづくり協議会ってなに？	4
2. 吉浜小学校区はこんな地域 ～ 現況と特徴・課題 ～	
(1) 吉浜小学校区の概要	5
(2) データから見る吉浜小学校区の姿（以下「地域カルテ」より）	6～7
(3) 吉浜小学校区に住んでいる人が思っていること（アンケート結果より）	8～11
3. こんな地域にしていきたいね！ 分野別キャッチフレーズ	12
各分野の計画・テーマの決め方	13
① 子どもに関すること	14・15
② 高齢者に関すること	16・17
③ 伝統文化に関すること	18・19
④ 防犯・交通安全に関すること	20・21
⑤ 防災に関すること	22・23
⑥ 環境に関すること	24・25
⑦ 広報に関すること	26・27
⑧ イベントに関すること	28・29
⑨ 運営体制について	30
⑩ 多文化交流について	31
⑪ 教室・講座について	32
参考資料	
(1) 地域計画策定経過 推進体制	33
(2) 吉浜小学校区の歴史年表	34・35
(3) 地域計画策定委員会メンバー	36

1. はじめに

(1) 地域計画 ってなに？

■ 「地域計画」とは

「地域計画」は、地域の課題解決や魅力アップに向けて、地域の市民の皆さんの「こんなまちになったらいいな!」「こんなまちにしていきたい!」といった想いを踏まえ、**小学校区単位の将来像、まちづくりの目標や活動方針、自主的・自発的に取り組む活動内容等を長期的な視点に立ち行政と協働で定めた計画**で、地区の団体、関係者、市民が主体となって策定するものです。

■ 市民が主役のまちづくりをめざして ～ 「地域計画」の策定 ～

私たちのまち高浜市では、自治本来の姿に立ち返り「自分たちのまちのことは自分たちで考え、つくっていく」という決意のもと、地域内分権を推進してきました。地域に身近な課題は、地域に住んでいる市民が一番よく知っています。「地域の課題を、地域の実情にあった、より良い形で解決したい・・・」「もっと地域の魅力やいい所を活かしたまちづくりを実現したい・・・」そんな**地域の私たちの想いをかなえていくために、地区の団体および関係者、市民で「地域計画」を策定**してきました。

■ 時代や課題に的確に対応していくために ～第2次地域計画の策定へ～

「地域計画」は、毎年度の事業立案や実行の指針として活用していますが、策定から10年余りが経過し、時代の潮流や地域の課題も変化が見られるようになりました。

また、平成27年4月には「高浜市まちづくり協議会条例」が施行され、まちづくり協議会が公共的団体として担保されました。「みんなのために、みんなで取り組む」「みんなで知恵や力を少しずつ持ち寄る」「想いを共有しながら運営・活動する」ことなどを今まで以上に意識しながら、自主的・主体的なまちづくりを進めていくことが大切になっています。

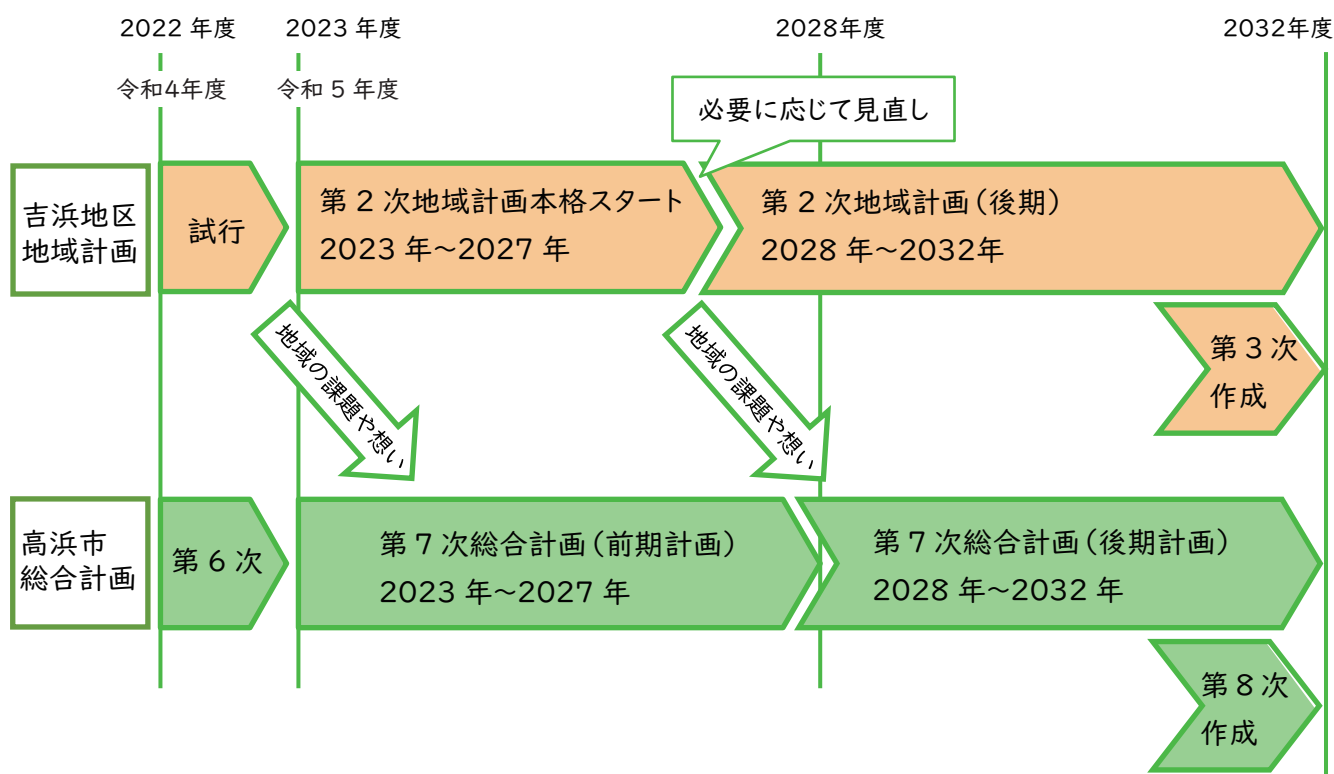
そこで、**時代の変化や課題に的確に対応していくために、また「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える地域をみんなで力を合わせて維持しさらに良くしていくために、これまでの「地域計画」を見直し、第2次地域計画を策定**します。

(2) 計画の 期間

地域計画は、地域の将来像とまちづくりの目標・基本方針、まちづくり計画、推進方策で構成します。

計画期間は、高浜市総合計画との整合を図るため、終期を2032年度までとします。

ただし、地域を取り巻く状況の変化等に柔軟に対応していくため、必要に応じて見直しを行います。



(3) だれが どうやって 作ったの？

地域計画は、地域の主な団体の皆さんをはじめとした地域住民により、**取組分野ごとに構成する8つの部会【生活委員会(子ども・高齢者)、文化委員会、安全委員会(防犯・防災・環境)、イベント広報委員会、運営体制委員会】**が中心となって、行政と協働で原案を練り上げました。

また策定にあたっては、アンケート実施、計画検討委員会・代表者会での協議など、地域住民との情報共有・意見収集を積み重ねながらまとめあげ、吉浜まちづくり協議会 通常総会にて承認されました。

(4)
まちづくり
協議会って
なに？

■ 「まちづくり協議会」とは

まちづくり協議会は、『高浜市自治基本条例』や『高浜市まちづくり協議会条例』に規定されているように、「住んでみたい」「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える高浜市の確立を目指し、町内会をはじめとした地域団体等が集い、各団体等が抱える課題や身近な地域の課題を話し合い解決していく組織です。

※高浜市自治基本条例第17条第2項「まちづくり協議会は、その地域の市民に開かれた組織とし、身近な地域の課題を話し合い、解決できるよう、地域の市民の意思を反映してまちづくりを行います。」

※高浜市まちづくり協議会条例第2条1号「小学校区を単位とする地域の市民により構成され、その地域内に所在する町内会他の市民公益活動団体の参加を得ている団体」

吉浜まちづくり協議会の構成員は



<グループ>
各団体の困り事や地域課題解決のため関係者をつなぐコーディネート役

<事務局>
各グループ間の連携・補助

2. 吉浜小学校区はこんな地域 ～現況と特徴・課題～

(1) 吉浜小学校区の概要

吉浜小学校区は、高浜市の北部に位置し、名鉄三河線・吉浜駅の東部に「郷中（ごうなか）」と呼ばれる旧市街地が形成されています。西は衣浦湾に面し、東部は明治用水が流れ、北東部は水田を中心とする農業地帯となっています。近年、古くからの市街地周辺に戸建て住宅や集合住宅の新築が進み人口流入が進んでいます。

(2) データから見る吉浜小学校区の姿 (以下「地域カルテ」より)

■基礎データ

《昔 (平成21年4月1日現在)》

①人口	11,841 人
年少人口(14歳以下)	1,925 人(16.3%)
生産年齢人口(15~64歳)	8,050 人(68.0%)
老年人口(65歳以上)	1,866 人(15.8%)
②世帯数	4,765 世帯
平均世帯人員	2.48 人/世帯
③面積	3.91km ²
市街化区域面積	2.99km ²

■主な地域資源

吉浜細工人形(県無形文化財)
射放弓(市無形民俗文化財)
藤江の渡し
人形小路、仲平茶屋、高浜茶屋吉貴
神明宮・八幡社・宝満寺・柳池院
正林寺・正林寺貝塚・呉竹の井戸
寿覚寺・丸畑公園など13公園
高浜安立荘、ケアハウス高浜安立

《今 (令和3年4月1日現在)》

①人口	13,050 人
年少人口(14歳以下)	1,865 人(14.3%)
生産年齢人口(15~64歳)	8,733 人(66.9%)
老年人口(65歳以上)	2,452 人(18.8%)
②世帯数	5,830 世帯
平均世帯人員	2.24 人/世帯
③面積	4.00km ²
市街化区域面積	3.08km ²

■基礎データからわかること

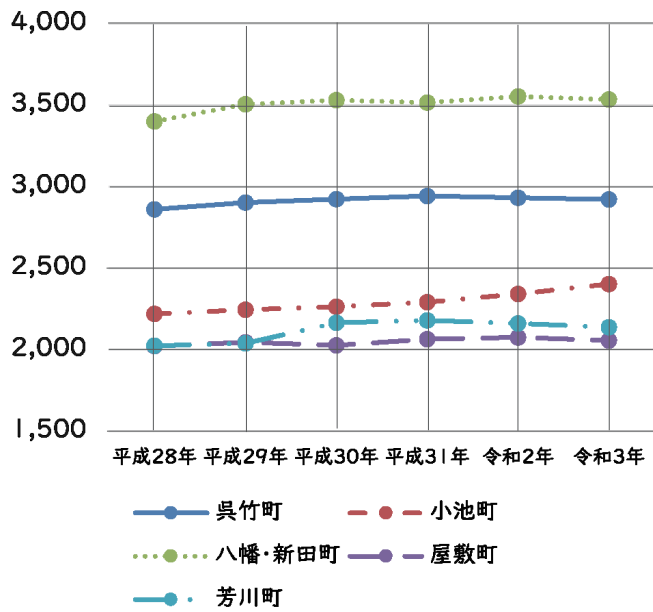
- ・人口は増加したが、平均世帯人員は減少し着実に高齢化が進んでいる。
- ・年少人口割合、高齢者割合は市全体平均より低く、生産年齢人口が市全体平均より高い。
- ・面積が増加したのは、高浜芳川緑地多目的広場が新たにできたため

《未来 (2040年)》

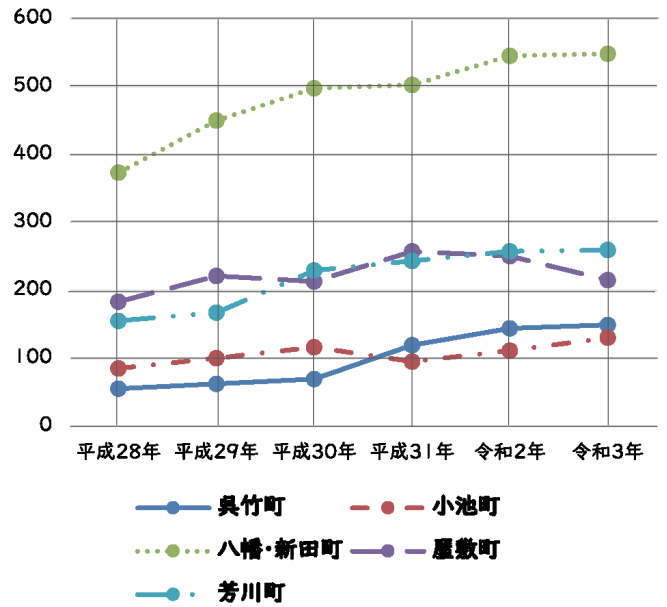
①人口	13,854 人
年少人口(14歳以下)	1,770 人(12.8%)
生産年齢人口(15~64歳)	8,522 人(61.5%)
老年人口(65歳以上)	3,562 人(25.7%)

- ・人口の4人に1人が65歳以上となる。
- ・生産年齢人口、年少人口において、割合、実数ともに減少する。

町別人口推移 (単位 人)



町別外国籍市民 (単位 人)



(単位 人)	A 平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	B 令和3年	B-A 令和3年-平成28年
吳竹町	2,860	2,902	2,922	2,942	2,931	2,921	61
外国籍市民	55	62	69	119	144	149	94
小池町	2,318	2,245	2,263	2,290	2,340	2,402	84
外国籍市民	85	100	116	95	111	130	45
八幡新田町	3,399	3,505	3,529	3,514	3,552	3,534	135
外国籍市民	373	450	497	502	545	548	175
屋敷町	2,021	2,044	2,026	2,064	2,075	2,056	35
外国籍市民	183	221	213	257	250	215	32
芳川町	2,023	2,038	2,165	2,179	2,160	2,137	114
外国籍市民	155	167	229	243	257	259	104

人口

- ・市内5小学校区の中で最も規模が大きい
- ・直近5年間の人口増加率は5地区中4番目
- ・町別人口では、すべての地区で増加
- ・小池町以外は外国籍市民が増加したことによる人口増

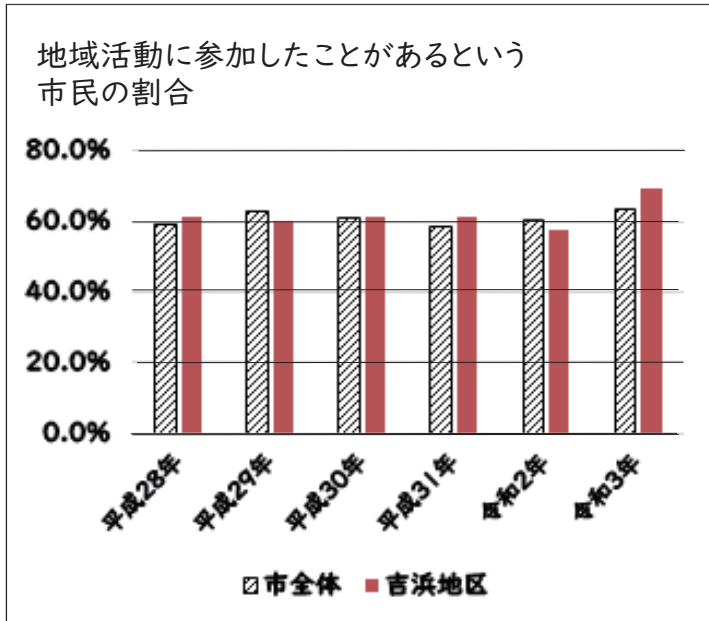
※ 高浜市総合計画の表現にあわせて「外国人」を「外国籍市民」と表記しています



■犯罪発生件数

		平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
吉浜地区	刑法犯	79(24%)	86(27%)	74(23%)	68(23%)	79(28%)	54(23%)
	重点犯罪総数	32(27%)	35(27%)	22(22%)	25(28%)	34(33%)	27(28%)
市全体	刑法犯	329	315	316	290	284	238
	重点犯罪総数	119	129	101	90	104	95

■地域活動への参加率



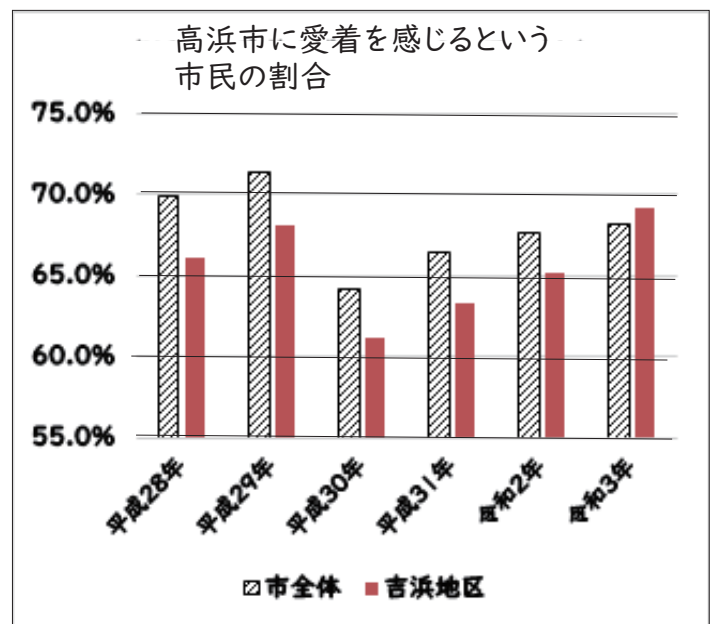
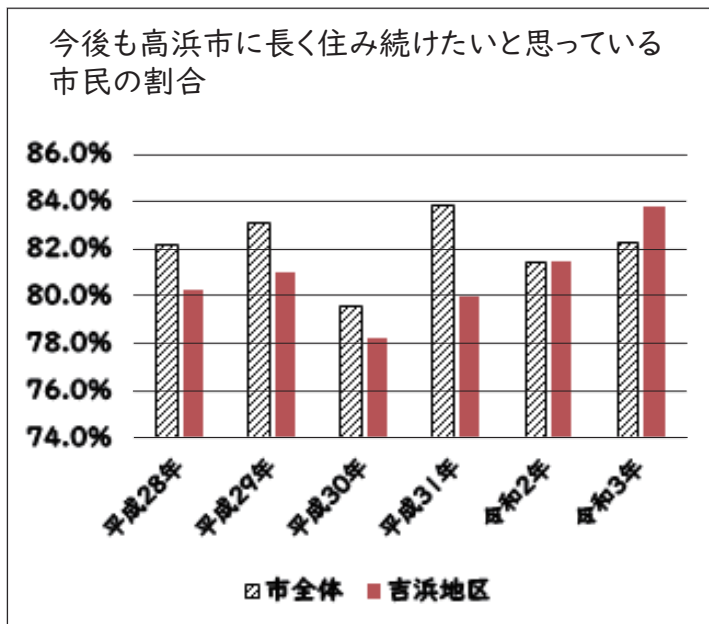
■地域活動

・最新の令和3年度では市全体平均よりも参加率が高い(5小学校区中2番目)



- ◇活動が多く、参加できる取り組みが多い
- ◆活動している人の負担感が増えないように配慮が必要

■地域への愛着等



■地域への愛着

長く住み続けたい理由としては、生活の利便性が理由として挙げられると考えられるが、愛着を感じる割合はまちづくりの取組の成果ではないかと考えられる

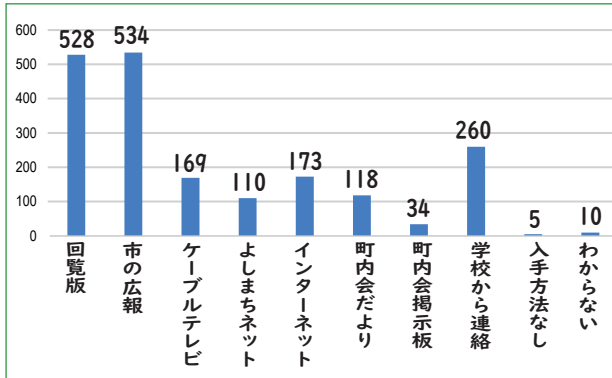
(3) 住民が思っていること

アンケートの結果

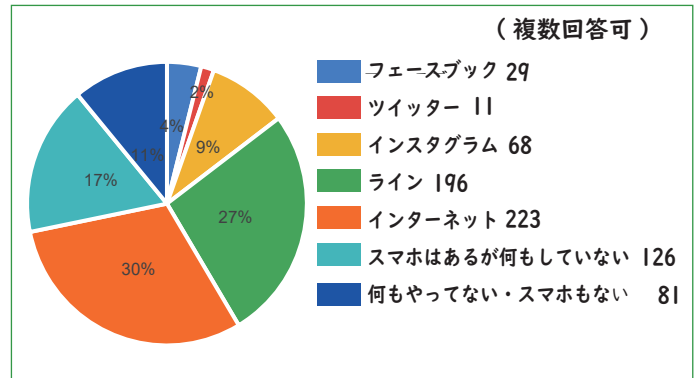
地域アンケートの実施

令和3年2月15日より3月末にかけて新地域計画策定に関するアンケートを実施しました
アンケートの依頼先は吉浜小学校全児童宅、吉浜地区4幼保園の園児宅、いきいきクラブ会員
吉浜地区町内会、吉浜まちづくり協議会関係者、その他一般の方々総計2151人の方にお願
いして、回答の受付は全部で735通でした

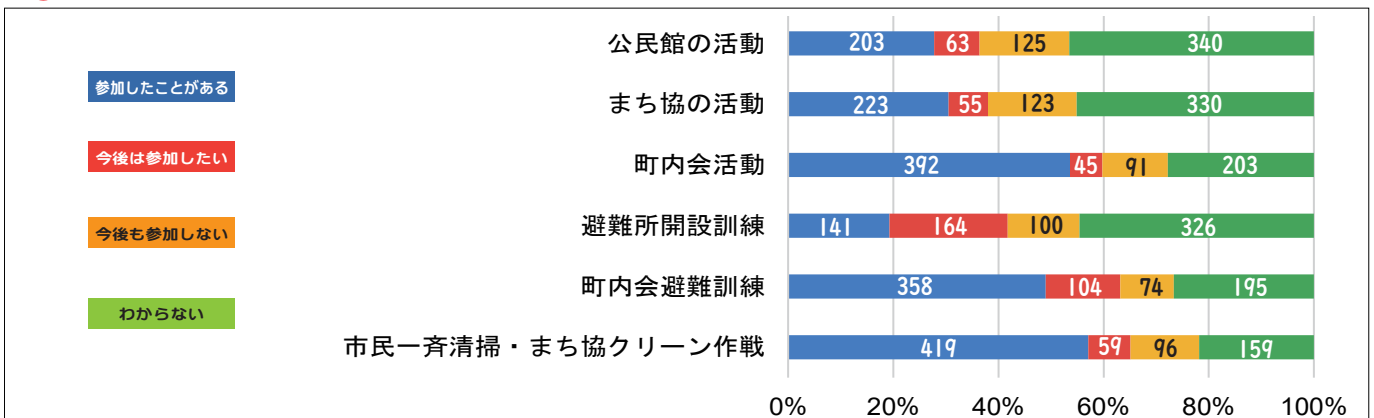
● 地域のほしい情報は？（複数回答可）



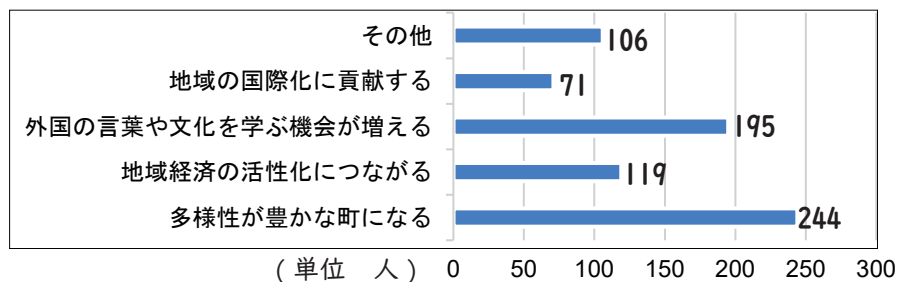
● 今後望む地域情報の入手手段は？（複数回答可）



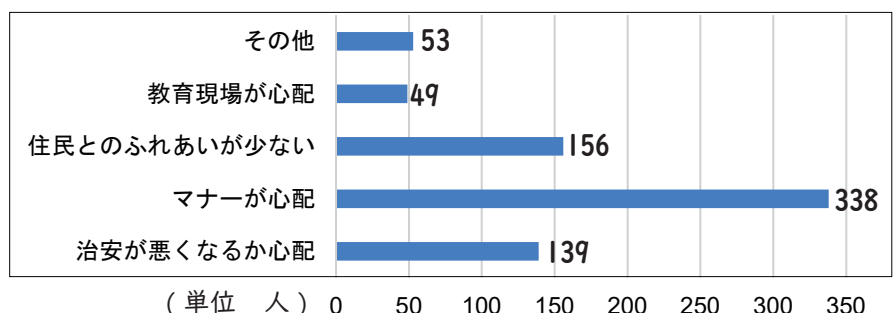
● 参加したことがある地域活動は？



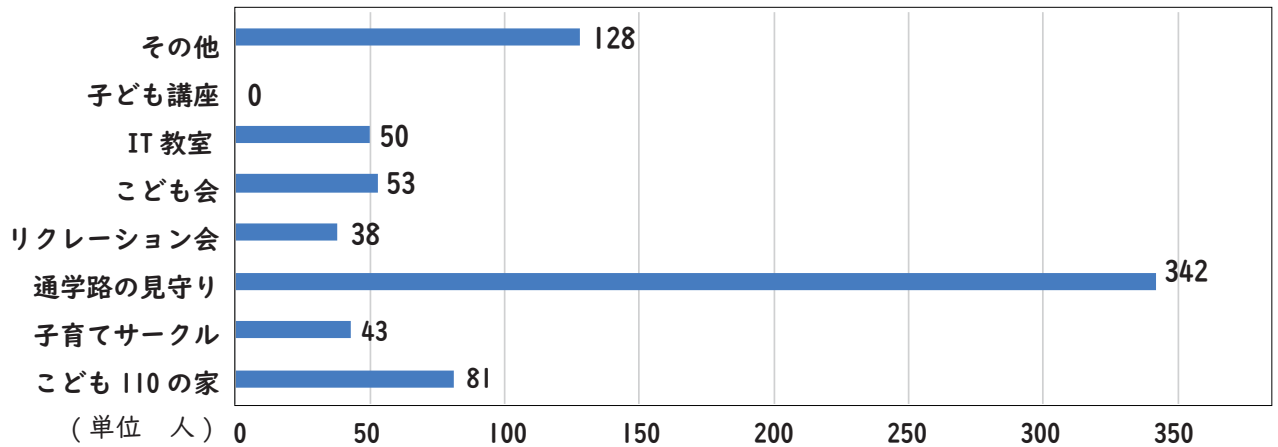
● 外国籍市民が多くなって良いことは？



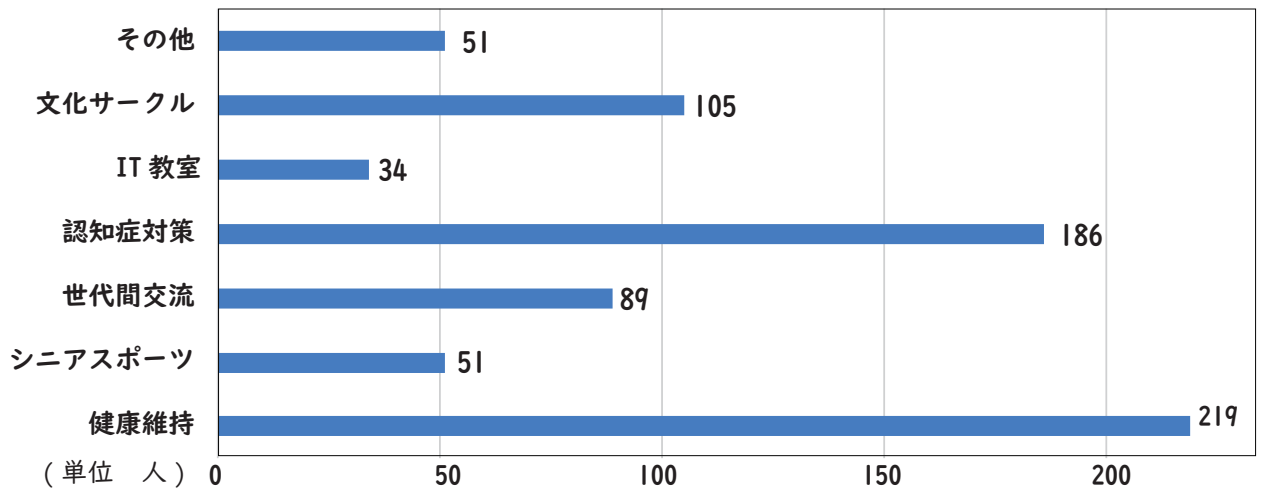
● 外国籍市民が多くなって心配なことは？



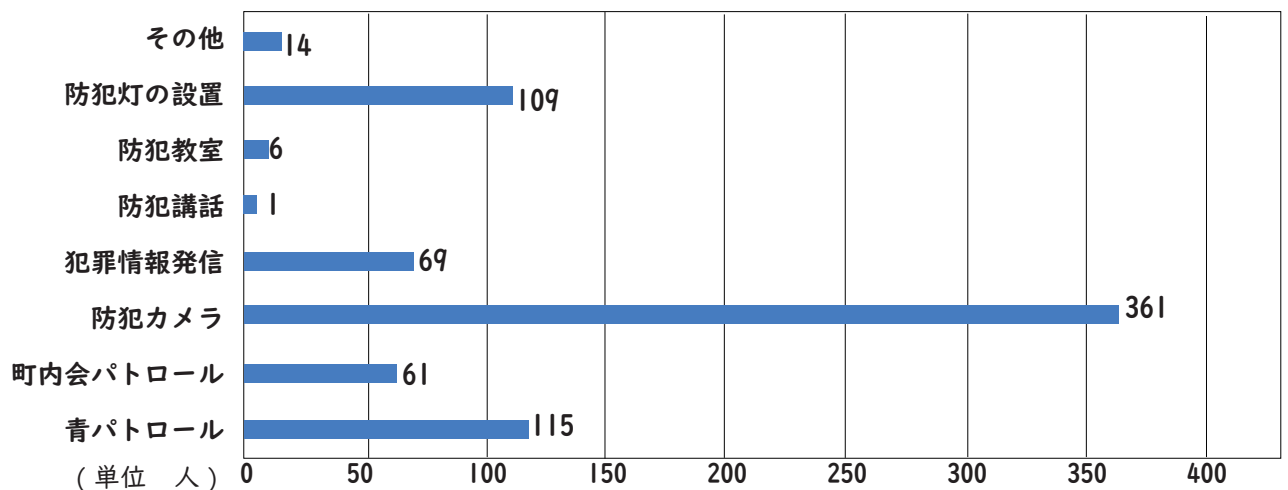
● 子どもに関することで一番にやってほしいことは？ (単位 人)



● 高齢者に関することで一番にやってほしいことは？ (単位 人)

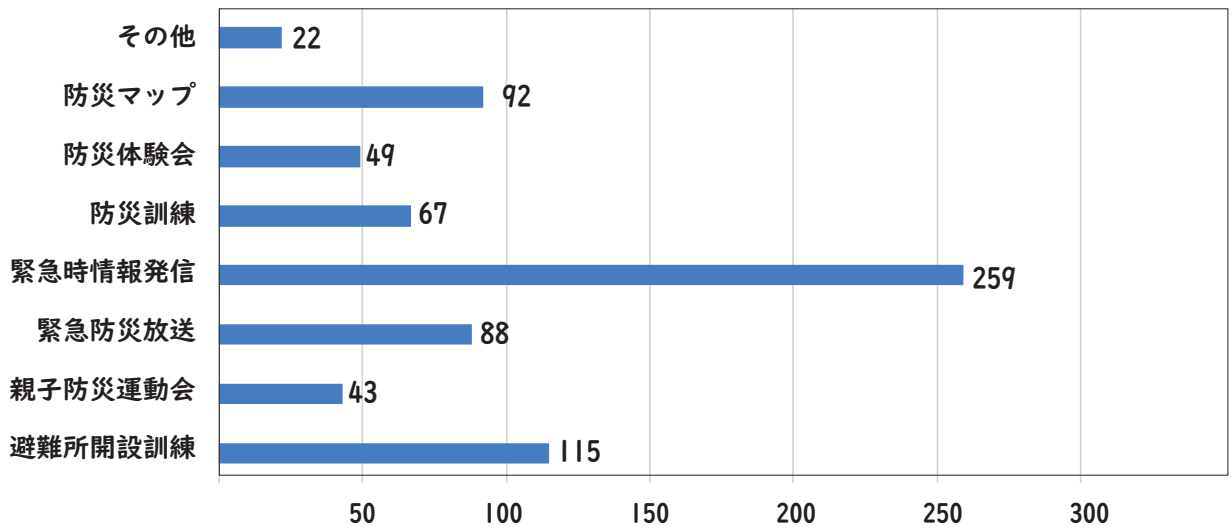


● 防犯に関することで一番にやってほしいことは？ (単位 人)



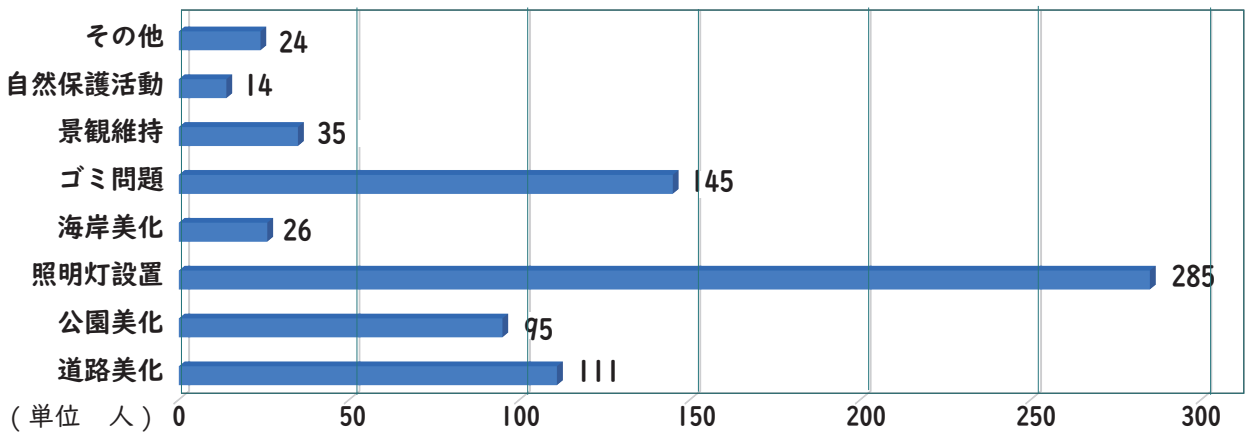
● 防災に関することで一番にやってほしいことは？

(単位 人)



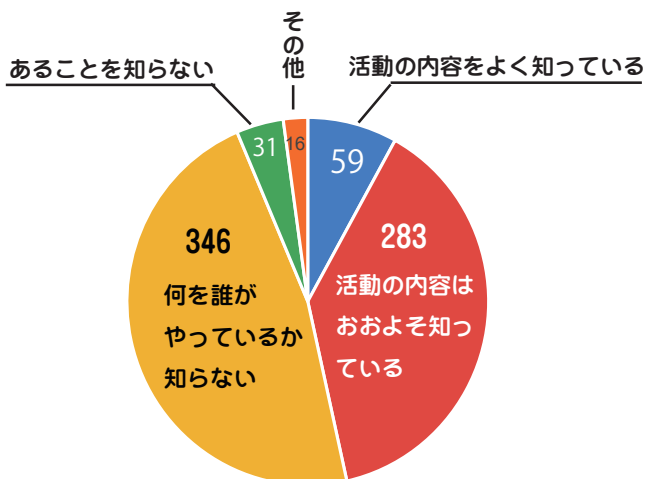
● 環境美化に関することで一番にやってほしいことは？

(単位 人)



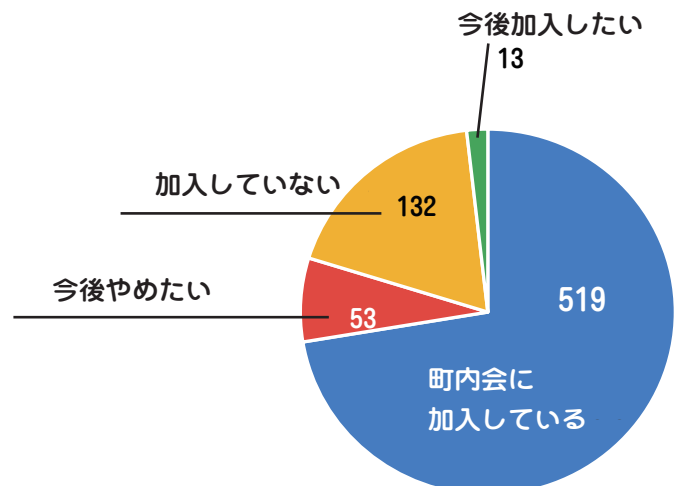
● 吉浜まちづくり協議会について

(単位 人)



● 町内会に加入していますか

(単位 人)



呉竹町、屋敷町の古くからある地区は道路が狭く、非常時に混乱が起きる 呉竹町

道がせまい！
芳川町・呉竹町・小池町
屋敷町・八幡町

海岸線のゴミが景観を損ねている 八幡町

図書館みたいな本がたくさんあって児童室みたいな所、静かに勉強できる場所がほしい 屋敷町

お祭りなどの情報があり参加できるのが住みやすい点だと思います 八幡町

駅周辺においてお店や施設が増えて便利になってほしい、でも安心して住めることも大事！ 八幡町

「日本文化の町よしはま」日本文化がしっかりあれば子供たちにも良いと思う。日本文化がしっかりある町が外国人からも魅力的な町だと思うから 屋敷町

子どもがのびのびと遊ぶことができる場所ができれば子育て世代には魅力的だと思います 八幡町

時代にあった学びが得られる学習環境が充実してほしい。今でいうなら情報系（プログラミング）や英会話が自然と身につく国際交流の場所とか 八幡町

もっと高齢者のことを考えてください 呉竹町

若者が誇りをもって社会に羽ばたける町にしたい 屋敷町

子ども会がほしい（キャンプなど） 呉竹町

文化を大切にしながら新しいものを採り入れて、より住みやすい魅力ある町にしてほしい 小池町

防犯カメラをふやしてほしい 屋敷町

年齢や障がいや国籍を問わず、皆が安心して暮らせる町であるといいと思います 呉竹町

土地が低いため津波が来ると不安海が近いので、災害時に心配 芳川町

吉浜駅からの夜道が暗すぎる・・・ 呉竹町

集団登校（通学団）を考えてほしい。犯罪や交通事故などが不安です 八幡町

災害時の避難所がもう少し安全で小さい子どもでも安心して避難できる場所ができるといいな 八幡町

買い物は車でないと行けない町内に高齢者が歩いて行けるスーパーがあると良い 屋敷町

広場の花壇に綺麗な花を見ると心が癒されます 呉竹町

地域になじみにくい排他的傾向強い 屋敷町

新しい家が多いですが、みんなで助け合いができる街になるといいですね 八幡町

全員が町内会に入り隣近所の絆ができると良い 八幡町

流入人口が増えて地区内や隣りどうしの交流がなくなった 芳川町

閑静な住宅地として価値を高め高齢者や子どもが住みやすい地域と思われたい 屋敷町

自分の夢でもありますが、いわゆる「お婆ちゃん」の年齢になったら地域の仲間と一緒に誰でも集まれる場所お母さんが買物に行く間、子どもさんを遊びながら見ていたり菊人形を作ったり・そんな町になれるのが吉浜だと思います 屋敷町

3. こんな地域にしていきたいね！

～吉浜小学校区の将来像とまちづくりの目標～

◎ 各分野とキャッチフレーズ

分野名	キャッチフレーズ
① 子どもに関すること	子どもが夢を持ち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま
② 高齢者に関すること	子どもが夢を持ち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま
③ 伝統文化に関すること	受け継ごう 伝統文化 育てよう 未来!
④ 防犯・交通安全に関すること	安心・安全は地域の支えあいから
⑤ 防災に関すること	家庭と地域 つながる 見える みんなの備えが命を救う
⑥ 環境に関すること	花いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱいのまち よしはま
⑦ 広報に関すること	伝えたい 知りたいの宝箱
⑧ イベントに関すること	みんなでつくる 子ども夢のまち よしはま
⑨ 運営体制について	持ちつ 持たれつ 支え合い 楽しく語る まちづくり
⑩ 多文化交流について	多文化共生は「あいさつ」から
⑪ 教室・講座について	楽しんで、充実した毎日を・・・

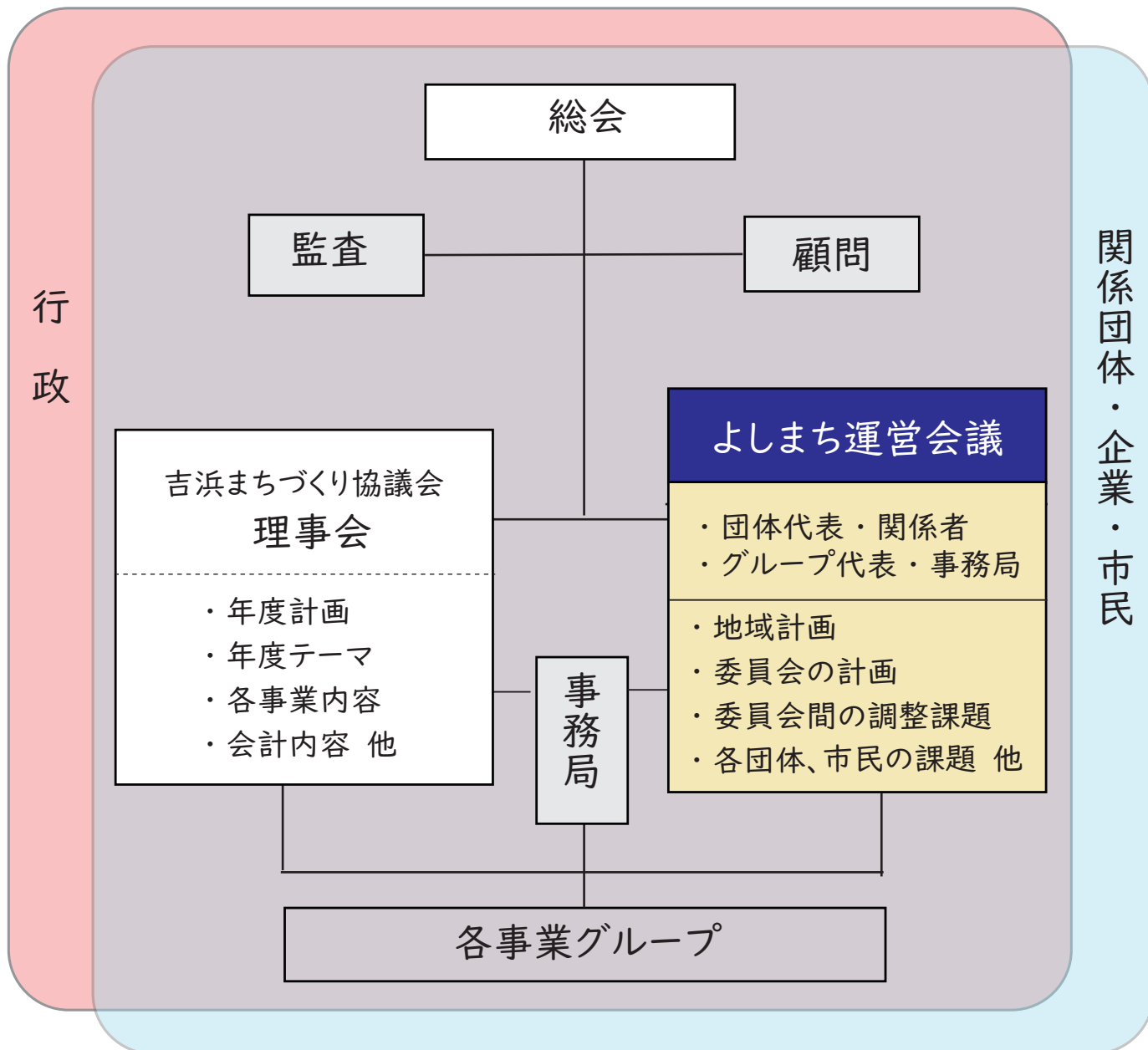
◎ 各分野の計画・テーマの進め方

地域計画の各テーマの推進・検討は、「よしまち運営会議」の場で協議しながら進めていきます

「よしまち運営会議」は、地域の課題を協議・解決していく場としてみんなで運営しています。地域計画、推進上の課題・テーマについてもこの場でざっくばらんに協議し、進めていきます。

2022年度では、地域計画の地区全体に関わるテーマを選び、テーマ別に検討してきました。今後も継続的に内容を協議し進めていきます。

《吉浜まちづくり協議会運営体制図》



現状は

- 地元の宝である子どもを地域全体で育む組織づくりには担い手が不足している
- 子どもが安心して楽しく活動できる施設や場所が少ない

課題

- 地域全体で子どもを見守る仕組みを作る
- 子どもの声に耳を傾けてともに活動する
- 将来の吉浜を担う人材を育成できる環境をつくっていく

具体的なステップ

- まずは「子ども」にとって必要な内容を考える「場」を作って進めていこう
- 子どもは地域の宝、各分野で関わりと関心をもって進めよう

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. みんなで子どものことを考えよう				
① 子どもをテーマにした「話し合いの場」をつくっていこう (現子どもグループの事業計画に入れ込む)		■		
② 「子ども」に関する活動を企画し、話し合ったことを実行できる環境と場をつくろう (①の中で「おやじの会」設立の準備活動をスタートさせる)		■		
③ 各世代、高齢者・外国籍市民などの交流の場をつくろう	イベント 運営体制		■	
④ 取り組み、活動情報を積極的に親にも発信していこう	広報	■		
2. みんなで見守る登下校				
① 登下校の見守りをみんなでできる仕組みを作ろう (現活動の中で問題の洗い出し) (新活動のスタート 3～5年以後見直し)	防犯 高齢者	■		
② 地域全体を「こども110番」のまちにしていこう (現活動の中で問題の洗い出し) (新活動のスタート)	防犯	■		
3. 子どもも親も安心できる居場所づくり				
① 「子ども版自生地」のような居場所をつくる			■	
② 子どもが行きたくなるような安全な公園をつくる (子どもをテーマにした話し合いの場で並行しスタート)	環境	■		
4. 子どものやってみたいを応援				
① 子どもの夢／やってみたいを子どもが考えて大人がサポートする仕組みづくり		■		
② 講座に子どもも参加できる内容を組み込んでいく		■		
5. 子育て支援				
① 子育てについて先輩のアドバイスが聞ける悩みを相談しあえるなどの場をつくる		■		

活動中の継続事業	内 容	備 考
A. 子どもの安全を守る		
① あいさつ・声かけ活動	主要交差点で 登下校の安全の見守り	吉小・PTA 関係者
② 吉浜小学校通学路確認	新一年生に通学路危険個所の確認 及び通学の見守りも検討していく	吉小・PTA 子ども G
③ こども110番の旗設置	子どもたちの安全確保のため 110番の旗の設置を各家に依頼し 管理する	吉小・町内会 子ども G
B. 子ども参加の事業		
① 市民ラジオ体操	地域の住民を中心に健康習慣を 身に着ける（検討中）	町内会 高齢者 G 子ども G
② 子ども七夕まつり	幼保園で実施される 七夕会・夏まつりをサポート	幼保園・町内会 子ども G
③ 子ども盆踊り	子どもが楽しめる地域盆踊り 大会への参加	吉小・幼保園 子ども G・PTA
④ 夏休み子ども講座	主に地域からワザあり職人を 講師として招き、ものづくりの 技術や楽しさの体験	講師 子ども G
⑤ 地域住民ふれあい	地域で行う各種イベント事業に 子ども達の参加をサポート	吉小・PTA 幼保園
C. 子どもと食育事業		
① 食育を通して野菜に親しみを持つ	子どもが野菜などを育てることで、 野菜の成長の不思議を体で覚え、 野菜に愛着を持ち、好き嫌いなく 食べれるようサポート	食育 高齢者 幼保園
② 野菜づくりで地域の人とふれあう	なかよし農園・ふれあい農園 にて体験とサポート	幼保園児・保護者 高齢者・地域住民
③ 野菜づくりで外国の人とふれあう	外国籍市民と野菜づくりを通じた交流	幼保園児・保護者 外国籍市民

現状は

- 住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられる仕組みができていない
- 高齢になっても互助を中心とした地域づくりを住民主体で進める環境がまだできていない

課題

- 高齢者の地域における地域との交流の促進、安否確認などの仕組みを作り上げていく
- 住み慣れた地域で日常生活を楽しく、いきいきと過ごせるようお互いで前進させていく

具体的なステップ

- 将来を見据え新しい情報交換体験を身に付けていこう
- 認知と体力、みんなで楽しく鍛えよう

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 脳もイキイキ（認知症予防の健康づくり）				
① 昔の写真を使った回想法の場を定期的で開催しよう	広報			
② 認知症カフェを定期的で開催しよう				
③ 認知症サポーターをふやそう、そのための理解者を養成していこう				
④ 高齢者が不安や悩みを相談できる場を作ろう				
⑤ 認知症の早期発見、早期対策、介護の実際を学ぼう				
⑥ ウォーキング等の体力づくりの場をつくろう				
⑦ 保健師やかかりつけ医の健康講話や相談の場をつくる				
⑧ 体験談を語り合い・聞きあう「いきがい教室」をつくろう				
⑨ 80-20 運動で歯を大切にす活動を広めよう				
2. 集い・つながる交流（地域住民交流）				
① 高齢者の事業を子どもや外国籍市民にも開放していこう	運営体制			
② 地域対抗イベントを開催する（地域対抗運動会とか）	イベント			
③ 多文化への理解を深めるためこちらから交流していこう	イベント			
3. お互いじゃんネット（助け合い、深め合い、地域貢献の仕組みづくり）				
① 子どもの見守り活動に参加していこう	防犯			
② 健康維持のため地域の環境を守る活動に参加しよう	環境			
4. まだまだ若い者には負けないぞ				
① 楽しく学ぶ「PCスマホ教室」をはじめよう 友人と情報交換、発信などができるように	広報			
② まだまだ社会見学に出かけよう 地域グループの訪問、施設見学など				

活動中の事業	内 容	備 考
A. 深め合い事業		
① 健康体操	毎月 4回	高齢者 G いきいきクラブ
② ウォーキング会	毎月 2回	
③ 折り紙教室	毎月 4回	
④ グラウンドゴルフ	毎月 4回	
⑤ カラオケ	毎月 2回	
B. お互いじゃんネット事業		
① 困りごと相談	随時	高齢者 G 民生委員 いきいきクラブ
② 独居老人見守り	随時	
C. 認知症対策事業		
① ちょいボケー座公演	年 1回	高齢者 G 健康推進 民生委員 社会福祉協議会 いきいきクラブ
② 認知症サポーターキッズ養成講座	年 2回 3年生対象	
D. その他の活動		
① 自然塾	ふれあい農園 野菜づくり体験	高齢者 G
② 男の料理教室	男ひとりのための料理教室	高齢者 G 地元講師
③ せいたい健康講座	自分の健康は自分で管理	地元講師
④ 傘寿記念品贈呈	長寿を記念し、地域で讃える	呉竹町
⑤ 敬老会	敬老の日に長寿を讃え祝う	芳川町
E. いきいきクラブ連合会の活動		
1. 社会奉仕 防犯パトロール(ウォーキング).(公園掃除)		いきいきクラブ
2. 教養講座 生きがい教室 カラオケ大会 研修旅行 西三大学講座 わくわくフェスティバル 女性部 陶芸教室・料理教室		
3. 健康推進		
スポーツ大会	グラウンドゴルフ ポッチャ ラダーゲッター ニュースポーツ	
歩け歩け大会		
自転車協議会		

③ 伝統文化に関すること 受け継ごう 伝統文化 育てよう 未来!

現状は

- 伝統文化を伝承、活動を継続するには、後継者を見つけにくいのが現状である
- 活動を通して、地域間の交流やまちの活性化を図っていく必要がある

課題

- 伝統は守りつつ、専門チームを構成して新しい感覚をとり入れながら、時代に受け入れられるものに、取り組んでいく

具体的なステップ

- 伝統である菊と人形を新しい感覚で積み上げ伝えていこう
- 子どもたちには体験を、そしてみんなで継承できる力を育てていこう

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 菊一本でまちづくり				
① 高浜市の花「菊」を育て、広めていこう 鉢植え展示などみんなでやってみよう 子どもから大人までみんなで菊を育てて咲かせよう	環境			
② 菊アート作品で多くの人に興味を持ってもらう事から始めよう				
2. 子ども菊人形の制作展示				
① 自然とふれあう菊人形づくりを体験して 「ふるさと吉浜の文化」を体験してもらおう				
3. 菊人形師の育成				
① 伝統ある菊人形の制作技術を継承していこう				
4. 吉浜細工人形の技術継承と進化				
① 新技術を導入した人形制作と展示方法を考えていこう				
② 達成感とやりがい・楽しさを伝えていこう	運営体制			
③ イベント情報を全国に、また若い世代にも発信していこう	広報			
5. 人形作り研修所の設置				
① 制作技術継承のため、後継者の育成の場をつくろう				
② 人形の制作時に地域の人たちも体験してもらえる場をつくろう				
③ 吉浜の人形文化を継承するための資料の保存場所をつくろう				
6. 吉浜の伝統を継承していこう				
① 射放弓のいわれ、流儀を文献や映像で保存していこう	広報			
② 活気が持てる射放弓が継承できる場を作ろう				
③ 吉見喜左衛門の歴史を伝えていこう	環境			
④ 射放弓を知ってもらうためのプロモーションをしていこう	広報			

活動中の事業	内 容	備 考
A. 菊一本でまちづくり		
① 菊苗育成	(小池菊畑) 菊育成教室	伝統文化 G
② 幼保園 菊栽培の体験	園児から菊づくりの体験を始める	
③ 吉浜小学校 菊栽培の指導	4年生菊の教室	
④ 高浜中学校 菊畑の栽培支援	市の花が「菊」であることを確認	
⑤ 里親菊事業	菊苗の一般配布	
⑥ 菊まつり 菊鉢展示	各世代自分たちが育てた菊を展示	
B. 子ども菊人形		
① 小学校こども菊人形制作支援	テーマ、菊の栽培、菊付け 4年生	伝統文化 G
② 幼保園のこども菊人形制作支援	菊まつりに4園共同製作の菊人形を	
C. 本格菊人形事業		
① 本格菊人形制作	胴殻制作・菊付け 菊まつり展示・解説	伝統文化 G
D. 子ども細工人形指導	細工人形の材料を使って 製作体験を指導	細工人形保存会



吉浜細工人形 高浜市の無形民俗文化財 令和2年制作

現状は

- 各種の防犯活動を展開しているが、効果的な活動となっているか疑問である
- 各団体等がそれぞれに防犯活動をしているが連携が取れていない

課題

- 地域の防犯上の特徴を把握し、効果的な防犯活動をめざしていく
- 自分たちで防犯診断や防犯講話ができるリーダーの育成をしていく

具体的なステップ

- 地区の防犯診断士を育成し、その知識と行動をみんなに広げていく
- 子供たちの登下校を見守れる新しい仕組みを作っていく

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 地域の防犯上の危険個所の調査				
① 防犯の専門家による地域の防犯危険個所の調査をしよう				
2. 地域の防犯リーダー育成				
① 防犯の専門家を育成し、地域にひろめていこう				
3. みんなで見守る登下校				
① 登下校の見守りと交通安全 地域で行う仕組みをつくろう	子ども 高齢者 防犯			
② 登下校時の犯罪に対する対策をしよう	子ども			
4. こども110番を進めよう				
① 地域全体を「子ども110番」のまちにしていこう	子ども			



活動中の事業	内 容	備 考
A. みんなで吉浜をマモルンジャー事業		
① 防犯教室	5年生を対象とした防犯教室	防犯 G・警察
② 交通教室	随時実施中	防犯 G・警察
③ 防犯啓発活動	こっこキッズと防犯活動を実施	防犯 G・警察
④ 小学校・幼保園パトロール	1回 / 月 実施	防犯 G
⑤ イベント開催時警戒活動	人形小路イベント等の実施	防犯 G・関係者
⑥ 青パト乗車体験会	7月 下旬	防犯 G・応募者
B. こっこパトロール事業		
① 住護の日の活動（徒歩パトロール）	毎月15日 に実施	防犯 G
② 青パトによるパトロール	昼間 週 3回 実施	防犯 G・PTA 登録者
	夜間 週 2回 実施	
	深夜 月 1回 実施	
③ 青パトによるパトロール（貸出）	町内会・いきいきクラブ主催	町内会ほか
④ 住宅街を護るパトロール （侵入盗防止パトロール）	毎月 10 日 実施	防犯 G 警察
C. その他の事業		
① 交差点の見守り	毎月 5・15・25 日 実施	交通安全指導員会 吉小・PTA
② ゼロの日活動（+交通安全週間）	毎月 10・20・30日 実施	
③ 交通安全声かけ・防犯見回り	毎月1回程度 実施	いきいきクラブ
④ 赤色回転灯点灯	毎月1回 実施	防犯 G・町内会
⑤ 青パト講習会	年1回 実施	警察

現状は

- 他県の災害を他人事と捉えがちである
- 意識が低く防災ノウハウの不足とともに防災活動がマンネリ化している

課題

- 町内会加入率が減少し、住民同士の関係が希薄になっても、非常時には対応できる仕組みをつくる
- 自主防災組織の担い手や防災リーダーを育成

具体的なステップ

- 変化しつつある災害に対応した防災マニュアルから始めてみんなで対策し、地区を大災害に強い、みんなの町にしてい

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 防災教育と備え				
① 防災マップは随時見直して、住民へ周知しよう				
② 災害応急井戸を整備して維持管理していこう				
③ 地区防災マニュアルを作成しよう				
④ マイタイム・ラインを作成しよう				
⑤ 小学生に対する防災教育（総合学習）への協力				
2. 防災訓練				
① 防災訓練を実施しよう				
② 避難所開設訓練を実施していこう				
3. 地域住民の安否確認				
① 継続できる住民の世帯名簿の整備をしていこう				
② 全世帯住民が容易にできる安否確認の仕組みをつくろう				
③ 要援護者の安否確認ができる防災緊急情報ネットをつくろう				
④ コミュニティ単位の安否確認システムの導入を進めよう				
4. 防災情報の授受				
① 確実に届く「防災緊急情報ネット」をつくろう				
② スマホ等のIT機器で防災情報の入手ができるようにしよう	広報			



活動中の事業	内 容	備 考
A. 総合防災訓練	町内会と連携した訓練	防災指 G・町内会 小学校・PTA 町内会・行政
B. 避難所開設訓練	大規模地震等が発生した時に 備え、避難所の開設訓練	防災 G・町内会 小学校・PTA 町内会・行政
C. 無線機取扱いと交信訓練	配備されている無線機を迅速かつ 的確に交信できるように訓練	防災 G・町内会 行政
D. 地区防災マップ	町内会ごとに、それぞれの地区を 調査した地区防災マップの作成	防災 G・町内会
E. 災害疑似体験活動	地震による揺れを体験したり、煙に まかれた時の対処方法の体験	防災 G・町内会
F. 災害応急井戸の整備・維持管理	災害発生時の飲料水の確保を目的に 災害応急井戸の登録と表示	防災 G・町内会
G. 防災食講習会	災害発生時の食料確保として備蓄の 考え方、その調理方法の習得	防災 G・町内会
H. 防災フォーラム	毎年9月 実施	芳川町・行政 昭徳会安立荘
I. 防災教育授業	6年生対象 総合学習	防災 G・小学校
J. 防災備蓄倉庫 避難所備品倉庫管理	定期的な防災備品などの管理	防災 G・町内会
K. 消防設備点検	点検 毎年 9月 実施	防災 G・町内会

現状は

- 人口増などの影響もあり、環境美化の基本について意外と知らされていない
- 地域をあげての活動になっていない

課題

- 吉浜小学校区がSDGsの考えの基にできることから実施していく
- キザえもんで環境活動を多世代・多文化に浸透させる

具体的なステップ

- 「キザえもん」を吉浜ゆかりの地区の人気者にしていこう、
- あわせて地区の環境に関する活動をもりあげていこう

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. みんなの心の故郷作りのための美化活動				
① 公園や歩道沿いに花を植えよう		■		
② 高浜市の花「菊」を育てきれいな花を咲かせよう	文化	■		
③ 子どもが行きたくなるような安全な公園をつくる	子ども		■	
④ 多文化交流【人「交」(みつど)UP】を進めよう	運営体制		■	
⑤ 野鳥観察で自然と共生を学ぼう		■		
⑥ 雨水の有効利用を図ろう			■	
2. ゴミの減量				
① ゴミ分別アプリ「さんあ～る」を普及させよう	広報		■	
② 道路及び隣接地の清掃・除草を推進してゴミの減量をすすめよう			■	
③ 「コンポスト」を活用して生ごみの減量を進めよう			■	
④ 多文化交流からはじめて、ゴミ関係のマナーを教えよう	運営体制	■		
3. 干潟				
① 干潟をきれいにし、吉浜の自然を守っていこう			■	
② 貯木場跡の再開発で漂流ゴミの対策を県に進言していこう				■
4. ICTの利用				
① ICTを活用し活動の状況を発信していく	広報		■	
5. 吉浜をイメージする場を創出する				
① キザえもん(吉見喜左衛門)をキャラクターにしよう	広報	■		
② 幼稚園・保育園他で「キザえもん」を飾ろう	文化	■		
③ 駅前一番館に「キザえもん人形」を飾ろう	文化	■		
④ キザえもんをICTを活用して広く発信しよう	広報	■		

活動中の事業	内 容	備 考
A. まち協道路清掃事業		
① 夏のクリーン作戦 7月	住民と企業が共同で県道碧南高浜環状線及び海岸の清掃	行政・環境 G 町内会・企業 いきいきクラブ
② 冬のクリーン作戦 2月 地域交流会付き	住民と企業が共同で県道碧南高浜線及び地域内の清掃を実施 清掃後「おしるこ」交流会	行政・環境 G 町内会・企業 いきいきクラブ 環境 G いきいきクラブ
B. 公園・道路の美化事業 ①里親花壇 ②道路沿いの花壇整備	公園や広場の一角、道路の分離帯、歩道などに花を植え、安らぎのあるまちづくりの推進 里親制度で管理 吉浜小学校区内の公園花壇	環境 G・町内会 関係者 環境 G いきいきクラブ
C. 自然との共生事業	吉浜の海岸周辺に飛来する野鳥の自然環境を守る活動観察会を開催	環境 G 野鳥の会 関係者
D. 市民一斉清掃	住民と企業が参加する一斉清掃 まち協・町内会・住民・企業・外国籍市民等が自由に参加する「市民一斉清掃」	行政・環境 G 町内会・企業 いきいきクラブ
E. ゴミ分別学習	ゴミの分別学習の機会づくりの実施	環境 G・町内会 関係者
F. 資源ゴミ分別パトロール	各ステーションでサポート活動	行政・町内会
G. 海洋生物調査活動	生物に関する調査活動の実施	かもめ会
H. 海岸線清掃活動	海岸・河口などの清掃	1回 / 月 かもめ会
I. 明治用水、山田川の清掃など	用排水路の管理	1回 / 月以上 南部配水 北部配水

現状は

- 住民に地域情報が十分に伝わっていない
- みんながほしい情報、ためになる情報がタイムリーに発信できていない

課題

- 地域に情報が、より届く仕組みづくりの構築が必要である
- 膨大な広報データの整理と活用と人材の確保が急がれる

具体的なステップ

- 情報を発信していくまでの仕組みを作っていく
- 情報を収集する場と仕組みを明確にして地域に伝えていく

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. まち協ホームページの運営とネットの活用				
① 施設の概要や予約状況の確認、利用の申込みがネットからできるようにしよう				
② まち協や町内会など、各種団体の活動予定をカレンダーとして公開しよう				
③ まち協や地域の主要団体の活動を紹介して地域住民に各団体への理解を深めてもらおう				
④ メール・ライン・QRコード等を活用していこう				
⑤ 「高浜市公式LINE」「さんあ～る」「マチイロ」「防災メール」「パトネットあいち」をもっと普及させよう				
⑥ 小学校、幼稚園、保育園を通じて父兄まで情報が届く仕組みを構築しよう	子ども			
⑦ 各団体のイベント情報を収集して公開する仕組みづくり	文化・教養			
⑧ PCスマホ教室等の利用で発信力を高めよう	高齢者			
2. 吉浜の歴史を次世代につないでいこう				
① データの保存と整理（データバンク）をしていこう	高齢者			
② 情報の収集とデータの公開の仕組みづくり				
3. 射放弓などの文化を分権や映像で残していこう				
① 「キザえもん」を吉浜のキャラクターとしてPR	環境			
② プロモーション活動を使用	文化・教養			
4. 地域情報センターの設置を市に働きかけよう				
① 各まち協を横断するネットワークづくり				
5. 広報担当者を広く育成していこう	運営体制			

活動中の事業	内 容	備 考
A. 広報		
① ホームページの管理	吉浜小学校区の情報を発信している	広報部
② よしまちネット発行	吉浜小学校区の情報誌として発行	
③ ブログの運営	吉浜小学校区の情報を順次発信	
④ フェイスブック	高浜市内の情報を発信している	
B. パネル展示		
① イベント会場掲示	イベント会場・ふれあいプラザ等で 地域活動の様子をパネルにして掲示	広報部
② 公共場所等での展示		
C. アーカイブス事業		
① 地域の古い写真の収集	地域の歴史的写真を収集、整理し 未来に残していくため紙媒体と電子 媒体を保存整理する	広報部
② 写真画像の整理保存		
③ 出張報告会	市内福祉施設等からの依頼により、 古い写真を使った回想法を採り入れ アーカイブス報告会を開催	広報部
④ ネットで報告会		
D. 映像		
① イベントや地域のビデオ撮影	活動の様子やまちの景色を動画で 撮影し、編集保存。吉浜の紹介ビ デオを制作して吉浜の文化や産業、 地域の活動などの広報に使用する	広報部
② 動画の編集・公開・保存		
E. 人形文化を広める		
① 細工人形と菊人形のデータ保存	毎年制作する細工人形の「舞台」 を印刷物にして公開、およびデー タを整理保存し後世に伝えていく	広報部
② 小学校・幼保園での継承活動		
F. 吉浜小学校区の情報誌	広報 『たかはま』 吉小 「よしまち」	各機関

現状は

- イベントが多く、エネルギーが分散して、イベントが惰性的になっていないか？
- 町内会単位では規模が小さく、参加者が制限される

課題

- 類似したイベントは統合し、マンパワーを結集し地区全体のイベントとして、質の向上をはかる。
- 可能な限り、多世代／多文化のイベントにしてい

具体的なステップ

- 「よしはま夏まつり」「よしはま秋フェス」をみんなで考えよう
- みんなのエネルギーを楽しく、効率的に結集させよう

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 「よしはま夏まつり」をスタートさせよう				
① 町内会ごとに行ってきた祭り、公民館盆踊り大会を「よしはま夏まつり」として統合を検討し、持続可能な形で開催しよう			■	
② 「盆踊り大会」をメインとして展開する会場は小学校と調整する			■	
③ 子ども・高齢者・外国籍市民との交流の場として活用しよう	運営体制 高齢者		■	
2. 「よしはま秋フェス」をスタートさせよう				
① 文化祭ほか各種展示会・発表会などは「よしはま秋フェス」として整理統合しよう			■	
② 文化の部 作品発表会・音楽会			■	
③ 体育の部 地域対抗運動会（ソフトボール、他）	高齢者		■	
④ 子ども・高齢者・外国籍市民が参加できる仕組みをつくろう			■	
3. 人形小路の各まつり・渡し場まつり等				
① 開催時期を調整して、他のイベントとの連携をめざそう		■		
4. 神社・寺院の催し				
① 神社の祭礼、花の塔などは、伝統的行事であるとともに地域住民の交流の場でもあるため、かかわり方を考えよう		■		

現在のおもなイベント		令和4年度の状況	
	イベント名	対象者	主催者
4月	八幡・新田町さくら祭り	主に町内会員	新田町・八幡町町内会
5月	花の塔 柳池院・宝満寺 人形小路 花まつり	町内住民・愛知県民	柳池院・宝満寺 人形小路の会
6月	かもめ会海洋生物調査	町内住民及び小学生	渡し場かもめ会
7月			
8月	ちよいボケー座の公演	いきいきクラブ・住民	高齢者グループ
	文化祭	よしはま住民	
	盆踊り大会	よしはま住民	
	呉竹・屋敷 夏まつり	町内会員・来場者	呉竹町・屋敷町
	町内会対抗ソフトボール大会	町内会選抜	
	グラウンドゴルフ大会	いきいきクラブ会員	いきいきクラブ
9月			
10月	芳川藤江の渡し場まつり	芳川町内会員・来場者	渡し場かもめ会
	秋の大祭 射放弓	吉浜地区住民	八幡社・神明社
	秋の大祭 おまんこ	吉浜地区住民	八幡社・神明社
11月	人形小路 菊まつり	町内住民・愛知県民	人形小路の会
	小池まつり	小池町内会員・来場者	小池町町内会
12月	人形小路 クリスマス	来場者	人形小路の会
1月	新年の行事	主に吉浜住民	神社・寺院
2月	人形小路 雛めぐり	町内住民・愛知県民	人形小路の会

現状は

- まち協の事業に対するやらされ感が強い
- 町内会をはじめ団体加入率の減少が止まらない
- 地域コミュニティの実行者や役員の負担が大きい
- 運営上の課題を、解決する方向に動いていない

課題

- 担い手の環境の変化に対応していく
- 外国籍市民の増加に対応していく
- デジタル化の加速進展に対応していく
- 維持改善できる運営状態を目指す

具体的なステップ

- 地域コミュニティ団体の課題を気軽に話し合える場（会議）をつくる
- 「よしまち運営会議」を気軽に活用できる場に変えていく

計画した事業	関連	いつから実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
1. 活躍する人の負担を軽減していく				
① 現公民館事業とまち協事業運営をもっと効率的に進めていく				
② 会議のあり方を見直し事業の統廃合を常に検討できる仕組みをつくっていきこう				
2. 地域人材を発掘し、育成していく				
① 気楽に細切れ時間が使える、手伝える仕組みを考えていきこう				
② IT関係（広報）の作業量増加に対応する人材を確保していきこう	広報			
③ 達成感とやりがい・楽しさを伝えていきこう	文化			
3. 協力しあえる雰囲気づくり				
① 事業の実施について問題を関係団体が定期的に協議、書面化し解決する仕組みをつくろう				
② 団体の課題や問題をざっくばらんに協議しあえる場をつくろう				

現状は

- 地域と外国籍市民との接点はまだまだできていない
- プラザなどの利用は増えてきているが、場所使用だけで交流にまでは発展していない

課題

- 地域のイベントに、たんなるお客でなく主催者の仲間として参加してもらう
- 地域のイベントの中でゴミ分別を考える習慣を身につけていく

具体的なステップ

- 高齢者・外国籍市民・子どもなどが交流できる場をつくっていく
- 外国籍市民にゴミ出し等、生活ルールを説明できる場を設ける

計画した事業	関連	いつまでに実施		
		0～2年	3～5年	5～10年
Ⅰ. 多文化交流を考えていこう				
① 高齢者・外国籍市民・子どもなどが交流できる場をつくろう	子ども			
② 多文化交流イベントを開催しよう（例えば地域対抗運動会）	イベント 高齢者			
③ 多文化への理解を深めるためこちらから交流していこう 【人「交」（みつど）UP】をしていこう	高齢者 環境			
④ 各種講座・イベントに外国籍市民や子どもも参加できるようにしよう	高齢者			
⑤ 外国籍市民にゴミ出し等生活ルールを説明する場をつくろう	環境			



市内に住む外国籍市民が人形小路に出店



小学生がサポートしてスタンプラリー

令和4年度開催中の教室・講座を整理して掲載しています
 地区の文化・生活を楽しんでもらえる内容を十分検討して
 地元の講師に依頼して開催しています

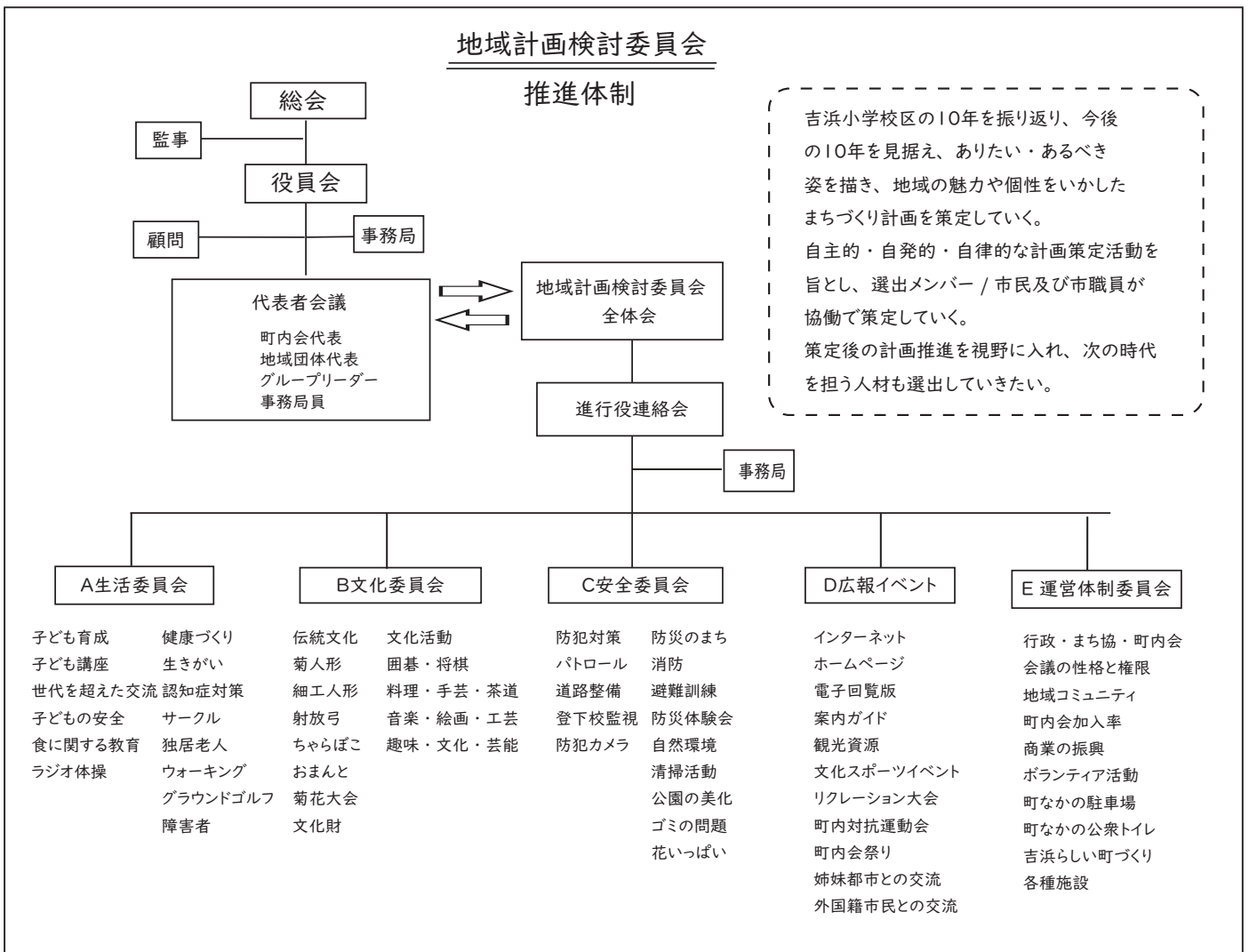
活動中の講座	開催日	開催時間
① さわやか歌広場	隔週 月曜日	10:00-11:30
② 切手アート	第3土曜日	13:30-15:00
③ 生け花教室	第1・第3 金曜日 (7月8月休み)	11:00-12:00
④ 折り紙教室	第3水曜日	13:30-15:00
⑤ 手芸講座	第2・第4 木曜日 / 奇数月	
⑥ 淑女麻雀教室	第2・第3 火曜日	13:30-
⑦ はつらつチューブ体操	毎週 月曜日	13:30-15:00
⑧ シャキーンと美姿勢	Aコース第1・3 木曜日	10:00-
	第2・4 金曜日	10:00-
	Bコース毎週木曜日	13:15-
⑨ 健康体操	毎週 水曜日	10:00-11:00
⑩ 囲碁教室	毎週 木曜日・土曜日	13:00-
⑪ スマホ教室	第3水曜日	13:00-
⑫ せいたい健康講座	毎週 金曜日	13:30-16:30
⑬ もじかずあそび	第3日曜日	9:50-13:30
⑭ 子ども手芸講座	第1 土曜日	14:00-16:00
⑮ 夏休みこども講座	夏休み	

教室・講座のデータは2022年11月のものです

参考資料

地域計画策定経過

2019年	5月 1日	令和元年スタート	
	5月 28日	第1回 地域計画検討委員会	現地域計画の内容説明と今後の進め方
	9月 17日	第2回 地域計画検討委員会	策定について現状の計画と環境及び流れについて
	11月 26日	第3回 地域計画検討委員会	他市の事例について吉村教授・メンバー宛アンケート
2020年	2月 18日	第4回 地域計画検討委員会	小委員会のメンバーとスケジュールについて
	6月	行政が第7次総合計画策定予定を(新型コロナウイルス感染症)の影響で1年間延期 吉浜小学校区地域計画も1年間延期を決定	
	12月 15日	第5回 地域計画検討委員会	今までの経緯とまとめを報告、アンケートの内容を説明
2021年	2月 15日	地域アンケート実施(配布数 2500)	
	3月 23日	第6回 地域計画検討委員会	アンケート実施状況報告・各委員会活動について
	6月 22日	第7回 地域計画検討委員会	市役所会議棟にて 小委員会から中間報告 スローガン
	10月 19日	第8回 地域計画検討委員会	小委員会から計画素案の仮まとめ キャッチフレーズ
	11月 18日	進行役連絡会 類似事業の整理作業	類似事業整理のまとめ(事業項目の整理)・
	12月 21日	第9回 地域計画検討委員会	試行版の内容について確認(書面会議)
2022年	3月 22日	第10回地域計画検討委員会	試行版のまとめ(書面会議)
2023年	1月 25日	第11回地域計画検討委員会	第2次地域計画最終版のまとめ
	1月 31日	吉浜まちづくり協議会 理事会にて「吉浜小学校区第2次地域計画案」承認される	
	4月 1日	第2次吉浜地区地域計画 スタート	



吉浜小学校区の歴史 Ⅰ

地元の歴史を振り返り、
継続して新しい歴史を作っていこう

縄文時代 晩期	正林寺貝塚や八幡社貝塚からこの地での生活の跡がうかがえる
1338 延元 3	義良親王御巡幸の際使用された井戸「呉竹の井」と名付けられた
江戸時代	刈谷藩水野氏領の配下に属する
1600 慶長 5 年	〈国内〉 関ヶ原の戦い
1607 慶長 12 年	刈谷藩水野氏領の配下に属する 吉見喜左衛門20才で神明社に神官として赴任
1614 慶長 19 年	吉見喜左衛門は武士となり吉浜をはなれる 〈国内〉 大坂冬の陣
1615 元和 1 年	吉見喜左衛門は再び神明社の神官となる
1619 元和 5 年	吉見喜左衛門は神明社を弟に任せ、紀州藩士となる
1656 明暦 4	兵火にあった光明寺（柳池院）が大平左衛門により再建される 第1回ご開帳 宝満寺
1657 明暦 5	現柳池院の再建を喜び手作りの人形加藤佐七が細工人形を奉納
1658 万治 1	神明社 焼失
1659 万治 2	吉見喜左衛門は急遽吉浜に戻り神明社を再建 神明社遷宮にあわせて喜左衛門より「射放弓の令書」が下される
明治	花火製造が盛んになる
1872 明治 5	第2回ご開帳 柳池院
1873 明治 6	第62番小学吉浜学校（現吉浜小学校）創立
1876 明治 9	第3回 ご開帳 宝満寺
1889 明治 22	町村制施行により、吉浜村となる
1890 明治 25	内藤、毛受、村瀬、竹内、神谷、杉浦らが花火づくり販売
1893 明治 26	第4回 ご開帳 柳池院
1902 明治 35	第5回 ご開帳 宝満寺
1906 明治 39	吉浜細工人形職人に黄花園から菊人形制作の依頼 高浜町・高取村と吉浜村合併 高浜町となる（大字吉浜）
1909 明治 42	第6回 ご開帳 柳池院
大正	父佐一郎の指導により加藤弥七が人工ふ化に成功 養鶏業発展の礎が築かれる
1912 大正 1	
1914 大正 3	三河鉄道（名鉄三河線）開通 吉浜駅開設
昭和	吉浜花火製造所 竣工
1927 昭和 2	
1928 昭和 3	第7回 ご開帳 柳池院
1932 昭和 7	吉浜小学校 赤井戸から現在地に移転
1934 昭和 9	第8回 ご開帳 宝満寺・柳池院
1935 昭和 10	蒲郡にて吉浜の花火師が天覧花火

開帳と細工人形：
ふだん公開しない秘仏を7年ごとに
厨子の扉を開けて拝観させること。
村人は開帳にあわせて、大々的に
細工人形を制作し奉納してきた。

吉浜小学校区の歴史 2

昭和	1941 昭和 16	太平洋戦争 1945・8まで 小学校は「吉浜国民学校」に改称	
	1944 昭和 19	東南海地震	
	1945 昭和 20	三河地震	
	1946 昭和 21	吉浜幼稚園創立	
	1947 昭和 22	吉浜小学校に改称	
	1951 昭和 26	吉浜保育園開園	
	1955 昭和 30	吉浜細工人形保存会 設立	
	1956 昭和 31	衣浦大橋の開通により藤江の渡しが役目を終える	
	1959 昭和 34	伊勢湾台風襲来	
	1964 昭和 39	柳池院・宝満寺ご開帳 吉浜細工人形 愛知県無形文化財に指定される	
	1970 昭和 45	高浜市市制施行 吉浜公民館新築工事完成	
	1975 昭和 50	射放弓 高浜市無形民俗文化財(第1号)に指定 菊が市の花となる	
	1977 昭和 52	吉浜北部保育園完成	
	平成	1995 平成 7	吉浜保育園が移転、新築完成
2000 平成 12		渡し場かもめ会 発足	
2002 平成 14		たかびれ公園の「龍」完成	
2005 平成 17		吉浜こっこパトロール隊 発足	
2007 平成 19		吉浜まちづくり協議会 発足 吉浜交番完成	
2008 平成 20		人形小路整備事業が始まる 吉浜こっこパトロール隊文部科学大臣賞受賞	
2009 平成 21		吉浜小学校区第一次地域計画 策定	
2010 平成 22		吉浜ふれあいプラザ 完成 愛パートナーシップ登録される	
2013 平成 25		吉浜音頭 発表	
2014 平成 26		吉浜まちづくり協議会「4つの理念」を決定 吉浜さんさん保育園 開園	
2016 平成 28		「菊人形づくり」が高浜市無形文化財に指定される	
2017 平成 29		芳川緑地多目的広場オープン	
令和		2020 令和 2	渡し場かもめ会 緑綬褒章を受章
		2022 令和 4	イメージソング 人形小路花暦 発表 「キザえもん」を吉浜イメージキャラクターに推進
	2023 令和 5	吉浜小学校区第2次地域計画スタート 第7次高浜市総合計画スタート	

生活委員会 進行役 野々山康隆	
生活・子ども委員会	生活・高齢者委員会
副進行役 ◎野々山康隆	副進行役 ◎ 水野義則
杉浦雅之（イベント兼任） 野々山知久（書記） 杉浦大也（防犯兼任） 加藤応子 伊藤 宗 小塚真由美 鈴木厚太 杉浦志保 浅岡俊光 磯村卓也 森下直美 内藤尚仁 佐々木裕子 村瀬早苗 古橋みちゑ 田中 愛	石川勝児 野田直宏 川澄鈔夫 神谷英利 加藤康二 生田ゆめ 菅野洋一（書記） 都築勝美 鈴木千奈穂

安全委員会 進行役 深尾睦世（事務局兼任）		
防犯委員会	防災委員会	環境委員会
副進行役 ◎中川孝一	副進行役 ◎内藤 恭	副進行役 ◎杉浦恵意
杉浦茂樹（事務局兼任） 三牧秀和 杉浦大也（こども兼任） 谷口好美 中村 豊 小西由香里 岡本竜生	柘植栄子（書記） 中川 等 野間保正 田中 真 祖父江佑介（伝統兼任） 内藤博忠	柘植秀治 村瀬 稔 下村政明 幸前志津子 松下智樹 加藤政則 磯村寿人 稲葉三千夫（故）

文化教養委員会 進行役 尾崎稔彦	イベント・広報委員会 進行役 鈴木康博	運営体制委員会 内藤充
副進行役 ◎ 神谷正巳	副進行役 ◎神谷達哉 ◎野々山徳雄	副進行役 ◎前川 勉（事務局兼任）
鈴木英嗣 永田朋子 内藤皓嗣（書記） 野々山清恵 村瀬 修 加藤意敏 都築孝子 杉谷 紬 下村和江 神谷賢吾 鳥居魁人 神谷龍奎 杉浦良太 祖父江佑介 中村 稔	鵜芦由未子 村松輝一 立川智昭 前田諒 新美純子 野間保正 坂本直敏 三宅真内美 杉浦雅之（子ども兼任） 神谷和夫（事務局兼任）	鈴木啓悟 横井光義 都築正治 石橋勝治 榊原雅彦 アドバイザー 日本福祉大学 吉村輝彦

地域計画検討委員会事務局	前川 勉	神谷和夫	杉浦茂樹	深尾睦世
吉浜まちづくり協議会事務局	都築正治	石橋勝治	鈴木啓悟	杉浦恵意
	村松輝一	菅野洋一	幸前志津子	下村政明

「吉浜小学校区 第2次地域計画」 策定についてごあいさつ

多くの市民及び団体の方々が集まって、地域計画検討委員会を立ち上げ、市民の皆さまからのアンケートを参考にし、それぞれの委員会ごとに検討を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、予定を1年間延長ということになりましたが、ようやく第2次地域計画が完成し、本冊子をまとめることができました。

一部はすでに始まっている事業もありますが、これからがさらに重要になってきます。皆さまの期待と協力とともに、多世代・多文化共生の精神で前進させていく必要があります。策定にあたり、ご協力をいただいた方々、市民の皆さまには深く感謝申し上げます。今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

2023年（令和5年）3月

吉浜小学校区 地域計画検討委員会



2023-2032 yoshihama

地域の情報は 吉浜まちづくり協議会 のホームページから
<https://www.yoshimachi.net/>



よりよく住みやすい地域にするために
引き続き今後も皆様のご意見をおよせください
ご意見は右の QR コードからお願いします

